



2020年 6月15日

日本鉄道労働組合連合会

貨物鉄産労

2020年度夏季手当交渉妥結

基準内賃金の**1.75ヵ月分**

厳しい経営状況において、前年同月数を確保

貨物鉄産労は6月12日の団体交渉で、会社から「2020年度夏季手当については、基準内賃金の1.75ヵ月分を支給する」との回答を受けた。

回答を受けて貨物鉄産労は、「新型コロナウイルス感染症拡大により、現時点での運輸収入が対計画▲28億円と厳しい状況にあることは理解するが、組合員は指定公共機関の責務として、感染リスクと闘いながら日々安全安定輸送に努めていることを強く認識していただきたい」と指摘。その上で、「この難局を乗り越えるためには、これまで以上に労使が一体となって立ち向かうことが不可欠であり、貨物鉄産労は今後JR連合とともに、新型コロナウイルス感染症拡大及び今後の環境変化を踏まえたJR産業の持続的成長に繋がる取り組みへの支援を関係省庁に求めている。また、JR二島・貨物会社への経営支援に関する要望書も提出することを考えている」と述べ、会社の持続的発展にむけた政策活動に、引き続き、取り組む決意を表明した。そして、「会社からの回答は要求と乖離があり、到底納得できるものではない」としながらも、今後、経営状況が回復した際には、組合員に還元することを強く主張し、席上妥結した。